

学校評価【教職員自己評価】

目的…学校の重点項目について自己評価し、学校関係者評価につなげ、今後の教育活動の改善充実に資する。
 方法…各項目の当てはまると思う数字に○をつけ、2以下は改善策を記入する。

《重点目標(7つの柱)》		そう思う	そう思う	だいたい思う	すこし思う	あまり思わない	そう思わない	教員平均値 5点満点	令和5年度平均値 5点満点	令和5年度との比較
1 学級・学年経営の充実 (自己有用感の育成)										
2 学習指導の充実 (学力の向上)										
3 生徒指導の充実 (よい子のやくそく、10のしぐさ)										
4 豊かな心と健康な体づくり (いじめ防止)(ボランティア精神の育成)										
5 開かれた学校づくりの推進 (体力・健康の維持向上)										
6 特別支援教育の推進 (保護者・地域との連携)										
7 幼保小中との連携の推進 (ノーマライゼーションの推進)										
7 幼保小中との連携の推進 (幼保小中との連携、小中一貫教育の充実)										
学級・学年経営の充実	1 児童一人ひとりが自分の存在感(居場所)、自己有用感を見いだせる学級づくりに努めた。	5	4	3	2	1		4.4	4.4	0
	2 児童一人ひとりが、目標に向かって、何事にも向上心と責任感を持って真剣に取り組むことができる学級づくり・学年経営に努めた。	5	4	3	2	1		4.2	4.3	-0.1
学習指導の充実	3 「主体的」「対話的」「深い」学びの視点にたち、日々授業改善に努めた。	5	4	3	2	1		3.9	4.2	-0.3
	4 あげお学びのイノベーションを推進し、児童が効果的に学習できるように努めた。	5	4	3	2	1		3.4	3.6	-0.2
	5 進んで英語を話す上小っ子の育成を目指し、英語活動、外国語活動、英語科の充実に努めた。	5	4	3	2	1		4	3.9	0.1
健康豊かな心と体づくり	6 教育活動全体を通して、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度等の道徳的実践力を養うよう努めた。	5	4	3	2	1		4.2	4.5	-0.3
	7 目標や課題を明確にもたせ、達成に向けて最後までねばり強く取り組み、達成感を味わうことができる児童の育成に努めた。	5	4	3	2	1		4.9	4.1	0.8
生徒指導の充実	8 いじめを見逃さず、いじめは絶対に許さないという毅然とした態度で児童に接するように努めた。	5	4	3	2	1		4.8	4.8	0
	9 「上尾小よい子の約束」を理解し、指導を徹底した。	5	4	3	2	1		4.4	4.5	-0.1
開かれた学校づくりの推進	10 保護者や地域の方に、学校と同じ方向を向いてもらうため、積極的に学校HPや各種たより等で、情報提供を行った。	5	4	3	2	1		3.8	4.1	-0.3
	11 学校応援団や地域との連携を強化し、授業や学校行事等で、積極的に活用した。	5	4	3	2	1		3.9	3.7	0.2
特別支援教育の推進	12 教育活動全般において、交流教育を積極的に推進した。	5	4	3	2	1		3.5	3.6	-0.1
幼保小中との連携の推進	13 幼保小中教職員との情報交換や授業交流等を積極的に行った。	5	4	3	2	1		3.2	3.4	-0.2
教職員事故防止	14 教育公務員として凡事を徹底し、マナーアップに努めた。(あいさつ、言葉遣い、時刻厳守、整理整頓、服装、電話の応対、立ち居振る舞い等)	5	4	3	2	1		4.4	4.5	-0.1
	15 日ごろ、教育公務員の在り方を肝に銘じ、教職員事故を起こさないよう努めた。	5	4	3	2	1		4.7	4.7	0